

## 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターで診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： クイックバックを用いたハザードドラッグ被爆対策への取り組み

### 研究の目的

医療現場で働く医療従事者の被爆対策は薬剤師の役割のひとつでもあります。嚥下障害があり口から薬を飲めない患者様へ、医療従事者が薬を水または約 55°Cの温湯で懸濁し経管投与をしています。抗がん剤などを懸濁した際に発生する液体が皮膚に付着する事などにより、投与する医療従事者が健康被害にあう可能性があります。私たちは、その被爆対策として、従来使用していた注入器ではなく、「経腸栄養注入セット・クイックバック」を使用し、被爆対策が必要で投与した医薬品名や、クイックバックの有用性について全国学会等で共有し、より良い経管投与の方法を明らかにします。

研究実施期間： 2023年8月21日～2028年3月31日

(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2022年7月1日～2027年6月30日までの間にハザードドラッグが処方され、かつ経管投与を受けられた方

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、被爆の可能性のある医薬品名について、標記研究課題実施のために利用します。具体的には、従来の注入器とクイックバック使用での被爆のリスクについて比較することで、被爆発生に寄与する因子を明らかにしたいと思っております。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	薬剤室・世永 壮、鳥谷部 翔 電話番号 0172-28-8220 (内線 112) /mail : pharmacy_hsrc@reimeikyoku.jp
-------	---